

平成 30 年第 4 回岐阜県議会定例会提出議案の概要（予算関係）

（平 30. 9. 21）

1 平成 30 年度一般会計予算の補正

歳入歳出補正予算の規模

補正額	31,097,796千円
既定額	813,287,918千円
累計	844,385,714千円

<参考 1>

前年度同期予算額	830,071,537千円
対比	14,314,177千円
伸率	1.7%

<参考 2>

過去の 9 月補正予算規模	平 29	184.2 億円
	平 28	260.6 億円
	平 27	98.9 億円
	平 26	186.2 億円
	平 25	108.4 億円

(単位：千円 △印は減を示す)
() 内は、既定額→補正後額を表す

(1) 歳入

地方特例交付金	9,667	(1,032,000	→	1,041,667)
分担金及び負担金	419,133	(3,030,655	→	3,449,788)
使用料及び手数料	3,238	(13,444,911	→	13,448,149)
国庫支出金	13,381,604	(86,779,960	→	100,161,564)
○国庫負担金	7,228,761	(43,906,043	→	51,134,804)
○国庫補助金	6,082,340	(41,246,558	→	47,328,898)
○委託金	70,503	(1,627,359	→	1,697,862)
財産収入	8,746	(1,372,365	→	1,381,111)
寄附金	40,200	(27,684	→	67,884)
繰入金	396,073	(22,037,205	→	22,433,278)
○基金繰入金	396,073	(21,023,379	→	21,419,452)
繰越金	2,064,379	(3,003,638	→	5,068,017)
諸収入	894,956	(46,561,500	→	47,456,456)
県債	13,879,800	(116,875,000	→	130,754,800)
合計	31,097,796	(813,287,918	→	844,385,714)

(2) 歳出 (主なもの)

◎印は補正新規事業を表す

《総務委員会関係》	325,130
＜総務部＞	99,387
＜危機管理部＞	221,709
◎災害救助費	208,709
平成30年7月豪雨において、避難所の設置や住宅の応急修理等の救助活動を、災害救助法が適用された21市町村に委託して実施	
◎豪雨災害時の住民避難行動実証研究事業費	4,000
平成30年7月豪雨を受け、実効性のある避難対策を確立するため、住民の避難行動の実態について、岐阜大学と実証的な共同研究を実施	
◎災害・避難カード作成モデル事業費	9,000
住民自らが、避難のタイミングや避難経路等を事前に記載しておく「災害・避難カード」を、平成30年7月豪雨の被災地区等でモデル的に作成	
＜議会事務局＞	4,034
○議会会議費	3,200
	(20,699→23,899)
議会活性化改革検討委員会の答申を踏まえ、本会議中継に手話通訳を導入するほか、議会広報番組に字幕を導入	
《企画経済委員会関係》	354,414
＜商工労働部＞	354,414
◎地域産業支援拠点整備事業費	46,000
飛騨地域の産業である木製製品の付加価値を高めるため、新製品の動作解析等を専門的に行う「人間工学実証研究スペース」を、生活技術研究所内に整備	
○商品開発・販路拡大サポート事業費	11,000
	(12,181→23,181)
東京オリンピック・パラリンピックを控える首都圏向けに、飛騨・美濃すぐれものなどの県施策関係商品について、個別商談会やテスト販売を実施	
◎海外大規模店舗展開事業費	11,600
平成31年4月に、ロンドン老舗インテリア百貨店ヒールズ本店にて岐阜県産品販売フェアを開催するため、各種準備を実施	

◎平成30年7月豪雨観光支援事業費 274,229
 本県を含む被災13府県において、2泊以上旅行した際の宿泊料金や、公共交通機関の寸断に伴う代替輸送手段の活用に係る経費等を支援

◎大河ドラマ「麒麟がくる」活用推進事業費 6,000
 大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公となる明智光秀にゆかりのある県内市町と協議会を立ち上げ、地域の活性化を図る取組みを実施

《厚生環境委員会関係》 146,623

＜環境生活部＞ Δ 25,424

○ジャポニスム2018等参加事業費 30,600
 (19,000→49,600)

ジャポニスム2018(フランス)及びサラマンカ大学創立800周年記念行事(スペイン)において、岐阜県の地歌舞伎公演を拡充するとともに、衣裳展示を実施

＜健康福祉部＞ 172,047

◎児童養護施設入所児童等進学支援事業費 1,842

いただいた寄附金を原資に、児童養護施設入所児童等の大学等の進学に必要な経費を支援

《農林委員会関係》 5,255,997

＜農政部＞ 2,646,677

○農業関係災害復旧関連事業費 1,666,780
 (181,825→1,848,605)

平成30年7月豪雨により被災した、農作物、農地及び農業用施設等の復旧事業等を支援するとともに、一定の農業用施設等については県が事業を実施

◎豪雨等に備えた農業用施設の防災・減災対策の推進 500,000

平成30年7月豪雨による他県での被災状況を踏まえ、小規模なため池を緊急調査するほか、豪雨災害時の主要道路の迂回路となる農道整備等を実施

○東京オリ・パラに向けた県産農畜水産物利用促進事業 12,550
 (10,775→23,325)

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、農業生産工程管理(GAP)等の認証取得促進に関する支援を関係団体に実施するほか、県産農畜水産物の利用拡大に向けて、大会関係者や消費者等へのPRを実施

＜林政部＞	2,609,320
○林道・山地災害復旧関連事業費	2,077,579 (265,908→2,343,487)
平成30年7月豪雨により被災した、林道や山地の復旧整備を実施	
◎山地災害防止対策の強化	300,000
平成30年7月豪雨を踏まえ、早急に豪雨対策を行う必要がある地域において、人家及び生活道路等を保全するため、治山施設の整備を実施	
《土木委員会関係》	24,649,711
＜県土整備部＞	23,793,038
○道路橋りょう災害復旧関連事業費	3,191,104 (489,232→3,680,336)
○河川災害復旧関連事業費	5,859,013 (640,684→6,499,697)
○砂防災害復旧関連事業費	1,813,097 (202,726→2,015,823)
平成30年7月豪雨により被災した、道路や河川などの復旧事業等を実施	
◎暮らしの安全・安心確保対策の強化	8,500,000
平成30年7月豪雨による堆積土砂等の除去や重要水防箇所の緊急改修に加え、災害時の備蓄資材を増強するほか、緊急輸送道路の整備等の防災対策を強化	
○道路改築費	1,948,198 (5,662,511→7,610,709)
○橋りょう補修費	1,175,100 (1,825,000→3,000,100)
事業進捗を図るため、国内示を踏まえて増額	
＜都市建築部＞	856,673
◎第三セクター鉄道災害復旧事業費補助金	24,900
平成30年7月豪雨で被災した、長良川鉄道の復旧費の一部を支援	
◎県営都市公園活性化戦略の推進	200,000
各県営都市公園の魅力を最大限に高めると同時に、地域の観光振興拠点としての機能を強化するなど、公園内施設の再整備や改修等を実施	
○街路事業費	549,530 (1,867,600→2,417,130)
事業進捗を図るため、国内示を踏まえて増額	

《教育警察委員会関係》		365,921
＜教育委員会＞		236,062
◎統合型校務支援システム導入実証研究事業費		68,890
小・中学校の教員の校務の効率化を図る統合型校務支援システムについて、県単位で共同調達・運用するための実証研究事業を、国の委託を受けて実施		
◎SNSを活用した相談体制構築事業費		8,475
SNSを活用し、県内中高生等の相談対応を行う実証事業を実施		
＜警察本部＞		129,859
○交番・駐在所防犯機能強化事業		57,900
		(17,311→75,211)
6月に起きた富山県の交番襲撃事件を受け、交番相談員の耐刃防護衣を整備するとともに、全ての交番と駐在所に防犯カメラ及びドアセンサーアラームを設置		
(3) 繰越明許費	16件	4,000,278
○総務委員会	2件	
県税電算処理システム運営費 ほか		
○土木委員会	13件	
街路事業費 ほか		
○教育警察委員会	1件	
交通警察強化費		
(4) 債務負担行為補正	29件（追加 27件、変更 2件）	
＜追加分＞		
○厚生環境委員会	2件	
放射線測定機器整備助成 ほか		
○農林委員会	5件	
蔵王田地区蔵王田ため池改築工事 ほか		
○土木委員会	20件	
平成30年発生公共土木施設災害復旧工事 ほか		

＜変更分＞

○企画経済委員会 2件
企業立地促進助成 ほか

2 平成30年度特別会計予算の補正

(単位：千円)

(1) 用度事業特別会計	21,223
指定物品及び供用物経費の増	
(2) 中小企業振興資金貸付特別会計	50,000
建設設備強化事業貸付金の増	
(3) 国民健康保険特別会計	9,972
国の交付金創設を踏まえた保健事業費の増	

平成30年7月豪雨対応関連県予算

対応予算合計 25,968,589 千円（うち9月補正 25,044,458 千円）

■ハード対策 25,217,936 千円（うち9月補正 24,540,066 千円）

（内 訳）

（単位：千円）

○土木関係施設 20,333,336（うち9月補正 19,940,137）

- ・道路、橋りょう復旧 3,508,549（うち9月補正 3,191,104）
- ・河川復旧 5,886,520（うち9月補正 5,859,013）
- ・砂防復旧 1,355,903（うち9月補正 1,308,997）
- ・復旧調査費等 578,264（うち9月補正 576,923）
- ・災害関連工事 9,004,100（全額9月補正）

○農業関係施設 2,158,205（うち9月補正 2,117,205）

- ・農地復旧 311,223（全額9月補正）
- ・農業用施設等復旧 1,346,982（うち9月補正 1,305,982）
- ・災害関連工事 500,000（全額9月補正）

○林業関係施設 2,607,950（うち9月補正 2,377,579）

- ・林道復旧 1,376,950（うち9月補正 1,253,579）
- ・治山復旧 931,000（うち9月補正 824,000）
- ・災害関連工事 300,000（全額9月補正）

○県有施設ほか 118,445（うち9月補正 105,145）

- ・畜産研究所 41,500（全額9月補正）
- ・飛騨高山高等学校 29,101（全額9月補正）
- ・長良川鉄道 24,900（全額9月補正）
- ・老人福祉施設 9,644（全額9月補正） など

■ソフト対策 750,653 千円（うち9月補正 504,392 千円）

（内 訳）

（単位：千円）

○災害救助費 208,709（全額9月補正）

○観光地風評被害対策 283,809（うち9月補正 274,229）

※予備費対応事業 231,167 千円に含まれる 9,000 千円は除外しています。

○予備費対応事業 231,167（7/24 予備費充用）

- ・被災者生活・住宅再建支援事業費補助金 111,467（予備費）
- ・災害援護資金貸付金 99,000（予備費）
- ・観光地風評被害対策 9,000（予備費） など

○災害・避難カード作成モデル事業費ほか

26,968（うち9月補正 21,454）